

2学年だより

上越市立板倉中学校
第2号 4月9日発行
文責 学年主任 金子 均

合言葉は「誰とでもチーム！」 ～大きな声を出せるようになりたい～

4月8日（木）の3限に、学年主任として2年生の皆さんに、以下のような話をしました。

この学年の合言葉を、今年度も「誰とでもチーム!」とします。この言葉は、「好きな人だけでなく、苦手な人も普通にかかわることができるし、いっしょに活動することができる」ことを意味します。いっしょに活動していると、そのうち苦手な人の良い面を見ることができ、苦手度が減っていくかもしれません。そしていつの間にか苦手ではなくなるかもしれないのです。

この4月、環境が変わって不安を感じている人もたくさんいることでしょう。誰にでも不安な気持ちがあるはず。「クラスに仲のよい人が少ないぞ、どうしよう」とか、「苦手な人がいるぞ、どうしよう」となれば不安になって当たり前です。でも、「誰とでもチーム」のスキルが身に付いていれば、その不安を小さくすることができます。多くの方が高校に進学すると思いますが、初めて教室に入ると知っている人は誰もいないということになります。社会に出て、新しい職場では知っている人は誰もいないどころか、同じ年齢層もいないかもしれません。そんなときでも、周りとかかわることができるスキルが身に付いていれば、何とかやっていけます。

そして、みなさんに期待することは、必要な場面で**大きな声を出せる**ようになってほしいということです。具体的に言います。例えば、教師に「〇〇なこと分かりましたか？」と全体に問われたときに、分かっているなら「ハイ」と答えますね。この「ハイ」の声を大きくしてもらいたい。大きな声で返事してもらえると気分がいいですよ。何より自分たちの士気があがります。

そして、社会に出たとき、勤務先が人の出入りがあるお店だったら、適切な音量で「いらっしゃいませ」とか「ありがとうございました」が言えないとダメなのです。ですから、朝礼で「いらっしゃいませ」を連呼して練習するのです。大きな声は役に立つでしょう。

これらのことは、日常的にやっていると身に付いていきます。ですから、授業の挨拶を意識してもらいたい。そのためにも号令をかける人は、声を張って号令をかけてもらいたいです。期待しています。



3限の学年集会の様子